



副会長
藤川 和秀

会員の皆様におかれましては、日ごろ本会運営に対しご理解とご協力いただきありがとうございます。

平成の時代も昨年4月に終わり、今上天皇がご即位あそばされ、年号も令和となりました。天皇陛下、皇后陛下におかれましては国民の安寧と平和を願われてのお言葉をいただきましたが、私たち国民の象徴として末永くご健勝であられることを節にお祈りするところでもあります。

さて、私たち、柔道整復師業界においても平成23年よりこの7年間で、600億円強の療養費の減収というまさに不況の真ただ中に置かれています。いわんや、療養費申請にあたり、保険者の執拗な患者照会や、受診抑制に繋がる行動も過去に例がないほどの件数に上っています。このことから私たち柔道整復師として業を行う者にとっては、まだまだ負のスパイラルから脱却できない現状であります。しかし、平成の大改革をなした事で、大きな一歩を踏み出したことに違いありません。

1. 施術管理者の要件強化

療養費の受領委任を扱うためには、原則3年間の実務経験・2日間に渡る16時間以上の施術管理者研修の受講。この要件は、令和6年より、完全実施要件となる。

2. 公的審査会の権限強化

審査会内への面接確認委員会の設置、これは疑義ある施術所(施術管理者等)をお呼びして、施術内容、施術録、日計表等の閲覧等により、申請にあたり疑義内容の確認・指導を行う。

3. 養成学校のカリキュラム等の見直し

授業単位85単位→99単位への大幅な改正。これらの改革によって、柔道整復師の質の担保を図られることとなり、現状の粗悪乱造された柔道整復師の減少が期待できる。

患者様を見させていただく前に、技術面・精神面・倫理観をつけることとなり柔道整復師の質が

担保されることと思います。

ただ、これらすべての要件を満たし輩出される柔道整復師は、令和6年からとなります。本会としましても会員各位には、療養費支給申請にあたり、適正且つ申請の根拠となる施術録の記載の充実をお願いしているところではありますが、まだまだ十分に周知徹底されているとは思えません。柔整業界を守るも失うも、私たち自身の行動、言動が重要であることを今一度認識していただくことを切に願うものです。本来の柔整業務に関係のない、医療行為もどきや慰安と取られるような“サービス”で収入を得る事は許されるものではありません。私たちはこれらの行為を排除するべく努力を怠ってはなりません。

本年度は、2年ごとに実施される料金改定があります。医科の改定率を見ましても、実質のマイナス改定となっていることから、柔整療養費の改定には大変厳しい現実が待っているかもしれません。少しでも、真面目に、真摯に業務に携わっておられる会員の皆様方に反映できるようになることを願ってやみません。そのようになる様に働き掛けをしていきたいと思えます。

本会での、運営に関しましても年々会費収入が減少しております。このことは、会員諸氏の収入減少を如実に表しています。このような収入減少を解消するため、保険外費用を徴収するなどの、混合診療は柔道整復師業にはありません。

いかに、患者様が納得しているからといって多額の費用を徴収していると、後々しっぺ返しがあります。私たち社団にある、「何でも相談ダイヤル」に数多くの同案件が寄せられています。なかには、回数券を販売し、途中で施術を中止したが残金を返していただけない。等の相談も後を絶ちません。このことは、先に述べた業界を先細りにしていくこととなります。

昨年度、日本柔道整復師会で立ち上げた、「匠の技伝承」プロジェクトがあります。柔道整復師は、ほねつぎ・接骨師です。骨折・脱臼等の整復が応急処置とは言え、医師以外に唯一行うことができる職種です。このことに関して、ある高名な先生がおっしゃっておられました。『柔道整復師は整復ができてこそ柔道整復師である。その技法を習得されているからこそ、打撲・捻挫・挫傷が診れるのではないですか』そのとおりであると私も思います。しかし、骨折・脱臼の患者様を扱いたくても来院しない、ともお聞きします。だからといってできないでは益々業務を縮小させることとなります。

私たち柔道整復師は、もう一度原点に立ち返り

本来の業務を見直して進むことが、支払保険者等に信頼を寄せていただく一歩になるのではないのでしょうか。

使い古された言葉ではありますが、「冬は、かならず春となる」との譬えのごとく、諦めることなく足場を固めて、一歩ずつ前進するように互いに協力して進めようではありませんか。

愛整会全会員、心をひとつにしてこれからの難局を乗り切っていきましょう。

『**団結は力なり**』

令和2年元旦

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、全国植樹祭やラグビーワールドカップなどのビッグイベントを成功裏に収め、8月には愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」をオープンするなど、愛知のプレゼンスを一層高めるとともに、ジブリパークの基本方針や愛知県新体育館の基本計画を新たに発表するなど、「進化する愛知」としての大きな1歩を踏み出した年となりました。

世界は今、グローバル化やデジタル技術の加速度的な進展などにより、ダイナミックに変化しています。愛知県がこれからも、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていくためには、そうした変化を恐れず、時代の波を乗り越え、乗りこなし、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

今年も一年、世界の様々な国・地域等と連携し、最先端の技術・サービスを取り込みながら、基幹産業である自動車産業はもちろん航空宇宙、ロボットなどの次世代産業の集積を加速するとともに、革新的ビジネスモデルや最先端技術を持つスタートアップを起爆剤とし、切れ目

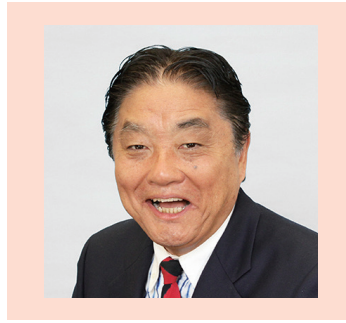
のないイノベーションを創出していくことで、「国際イノベーション都市」への飛躍を目指してまいります。

また、リニア大交流圏の形成を見据えた社会インフラの整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上にもしっかりと取り組み、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指してまいります。

今年も、愛知県では、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、あいち技能五輪・アビリンピック、世界ラリー選手権などのビッグイベントが予定されています。国内外から多くの方がお越しになりますので、万全の準備を整え、愛知の魅力をしっかりPRしてまいります。

こうした取組を通じ、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現を目指し、県民の皆様へ、笑顔で元気にお過ごしいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2020年元旦



名古屋市長
河村 たかし

チャレンジ&チェンジのまち ナゴヤ

あけましておめでとうございます。愛知県柔道整復師会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、令和の時代が華々しく幕開け、ナゴヤは市制施行130周年という節目を迎えました。さらに、昨年10月には、「名古屋市総合計画2023」を策定。アジア競技大会、リニア開業などを今後に控え、フレッシュスタートを切ることができました。

その中で今年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年を迎えます。これは、ナゴヤの魅力を世界中の皆様知ってもらう絶好のチャンスであると同時に、いま魅力を発信しなければ、リニア大交流圏が誕生したとき、単なる通過都市へと成り果てしてしまうことも考えられます。そうならないためにも、世界中の皆様から目的地(デスティネーション)として選ばれる魅力の創出に心血を注いでまいります。

その上でも、名古屋城天守閣の木造復元は最大のミッションであり、本物の輝きを全世界にお届けできると信じています。まずは石垣の調査・検討を早期に完了すべく、着実に進めてまいります。

そして、子ども・親への支援については「自分は何が好きなんだろう」と子ども自身に考えさせるエデュケーションが必要だと感じています。今年も子どもたちの笑顔のために全力を尽くしてまいります。

令和は変化の時代と言われています。ナゴヤは、この変化にしっかりと対応できるまちへ「チェンジ」していかなければなりません。今こそ強い決意を持って大胆に投資し、積極果敢に「チャレンジ」してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

令和2年元旦



愛知労働局長
木原 亜紀生

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

年の初めに当たり、改めて公益社団法人愛知県柔道整復師会の皆様の日頃からの愛知労働局の行政運営に対するご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今年一年の所信の一端を述べさせていただきます。

本県では、輸送用機械器具製造業を始めとする製造業が県内経済を牽引しているとともに、リニア中央新幹線の開業に向けた工事が進み、名古屋駅周辺では高層ビルなどが相次いで建設され、また栄地区においても再開発工事が着手されるなど、地域経済の活性化がますます期待されています。

そのような中、働き方改革の実現は、我が国の社会経済を大きく左右する喫緊の課題であります。働き方改革は、働く人々が子育てや病気療養など、何らかの事情や制約を持っている状況において、それぞれの事情に応じた多様な働き方を自ら選択できるようにする社会を目指すための改革であり、時間外労働の上限規制、年次有給休暇の年5日以上の実質的な取得など、既に法律が施行されたものはもちろん、本年4月に施行されるものなどについて必要な情報をわかりやすく周知し、企業の支援を行ってまいります。

労働災害防止対策につきましては、働く方々がその能力を十分発揮して活躍していただけるよう、労働災害のない安全で安心して働くことのできる職場環境の実現に向けて取り組んでまいります。

また、労災事故で被災した方々が速やかに治療を受け、リハビリや職場復帰のための指導を受けられるよう、引き続き迅速、公正な給付を行い、被災労働者の生活の安定に努めてまいります。

本年もこのように様々な施策を推進してまいります。新しい年が皆様にとってより良い年になるよう祈念いたしますとともに、今後とも変わらず皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

令和2年元旦



公益社団法人愛知県医師会 会長

柵木 充明

明けましておめでとうございます。

さて、日本を取り巻く海外情勢は年を追う毎に不安定さを増しています。

米中の貿易戦争は長期化する様相を呈し、貿易に留まらず、世界の覇権争いに及んでいます。東アジアでは米中露の思惑が交錯し、朝鮮半島では北朝鮮、韓国がそれぞれの国益を主張し、何時何が起きても不思議はない、不安定な情勢が今年も続いていきそうです。

昨年9月に発足した第4次安倍第2次改造内閣は、憲法改正、全世代型社会保障改革を掲げて今後の日本の舵取りにあたりますが、発足後2ヶ月で2人の閣僚が辞任する異常事態となり、戦後最長の政権運営に赤信号が灯っています。

消費税が8%から10%に増税されましたが、今のところ大きな消費の減少は見られず、それに伴うポイント制なども混乱なく機能しているようです。

現政権中は、更なる増税論議はタブー視されていますが、10%で終わるはずもなく、次の政権の課題となることは必至です。

わが国の最大の課題が少子化、人口減少にあることは、ここ数年で国民の共通認識となりつつありますが、一方では、これからますます加速する都市部での高齢者人口の急増にも、対応していかなければなりません。

また、「医師需給分科会」では2028年には医師の需給が均衡し、医師過剰時代が訪れるとしています。未来に責任を持ち、日本の医療を守り抜く覚悟で、変革の時代に対応していきたいと考えています。

負担と給付のバランスを考えつつ、国民の満足度の高い医療提供を続けていく必要があります。愛知県医師会はこれらの施策に対し、是々非々の立場で県民と共に考えつつ、医療環境の整備に取り組んで参ります。

波乱の年明けと言えますが、一歩ずつ堅実に確実に歩を進めて参りたいと思います。柔道整復師会の皆様方におかれましては、本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

令和2年元旦

Photo Gallery

上：行事名
下：開催日

第16回東海少年柔道大会
第9回東海少年柔道形競技会
第38回東海ブロック会柔道大会



少年柔道大会：優勝



少年柔道大会：女子団体優勝



少年形：優勝



第54回愛知県柔道整復学会
7/7



第54回東海学術大会愛知大会

11/17



第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会
11/23・24



令和1年度第1回赤十字… (トピック)



防災訓練各種 (トピック)



▲ 昭和区 (事業部)

▲ 昭和区 (事業部)



▲ 豊橋市 (事業部)

▲ 豊橋市 (事業部)

▲ 豊橋市 (事業部)



▲ 東区 (事業部)

▲ 武豊町 (事業部)

▲ 武豊町 (事業部)

▲ 武豊町 (事業部)



▲ 太白区 (鶴舞)

▲ 岡崎市 (岡崎)

▲ 尾張旭市 (大曾根)



▲ 半田市 (半田)

▲ 東海市 (半田)

▲ 東海市 (半田)



▲ 知多市 (半田)

▲ 大府市 (半田)

▲ 大府市 (半田)



■ 岡崎市乙川リバーフロント… (ふれあい)



■ ID (知的障害者) 柔道安全指導… (ふれあい)



■ おりもの感謝祭一宮七夕まつり (ふれあい)



令和元年全日本柔道形競技大会



■ 令和元年全日本柔道形競技大会 (ふれあい)



■ 学術研修会 (豊橋)



■ ウエルネス2019 (豊橋)



■ 学術研修会 (熱田)



■ 一宮市民健康まつり (一宮)



■ 江南市健康フェスティバル… (一宮)



■ 一宮市バレーボール大会救護 (一宮)



■ 東海市ハーフマラソン… (半田)



■ ひがしうらマラソン… (半田)



■ 支部学術研修会 (大曾根)



■ 第40回記念豊田マラソン… (岡崎)



■ ボウリング大会 (組合)